

団塊の世代は語る 1

地域に家庭に。第二の人生を考え始めてる。

山本和広さん



やまもと かずひろ
焼津水産化学工業株式会社常勤監査役
1949年生まれ
1973年早大政経卒、同年静岡銀行入行
執行役員本店営業部長、静銀DCカード代表取締役などを経て2004年6月から現職



精神世界に触れ、小宇宙を戯れる

キーワードは、「メントモリ(死を想う)」「仏教(自利利他)」「自然回帰」「鬼(妖怪)」。早稲田の政経卒、静岡銀行31年勤務という経歴とは遠いところに現在の興味がある山本さん。「昨年は212冊、本年は108冊を突破。1日半～3日に1冊は読破している。

Q お忙しいのに、なぜそんなに読むのですか?

A 好きなんですよ、本が。平均寿命で計算すると、あと25年。そうなると、つまらない本は読めない。あつ、明日死んでしまうかも…。それではもつとつまらないのはだめだね。本は精神の安定剤かも、ね。

社会貢献意識に目覚める

静岡銀行のOBで、かつ焼津市民であることがメンバーの条件という「焼津黒潮会」。創立15年のボランティア組織で、老人ホームの訪問などが主な活動だ。山本さんは5年前から会長を務めている。「社会人の自立」という頂上へむかって「会社人間から社会人間へと変身中」という。

A Q 地域貢献の活動は面白いですか?

もともと人と話すのが好きなんですね。本当はマスコミ志望で銀行は入りたくはなかった。会社に恋焦がれ入った先輩達とは違うから、摩擦もだいぶね。封建的なものを打破したい気持ちちは今もあるけど、あの頃は「先輩たちは体制的で、モノを変革する気がない」という想いがありました。それで続けられたのはお客様とのやりとりが面白かったからかな。銀行時代の最後はDCカードの社長で、お客様が

第二の人生で家事を知る

A Q 家庭人としてのお願いは?

一年ほど前両親の身体の具合が悪くなつて、妻に負担をかけていて申し訳なくてね。両親のことでは本当に心から感謝している…。その頃から、家事もやらないと、つて思い始めましたね。二年ほど前関連会社に出ることになつて、第一の人生を考え始めたかな。夫婦は文化的な趣味が一致しているといふと思う。うちは妖怪の件では合つていて、境港(水木しげるが幼年期を送った地)鳥取県に二人で旅行したりして。これからも共通の趣味がもてるといふ。普段はお互い「勝手にやつて」、「勝手にしてるよ」つて感じかな。あんまり干渉したくないし、されなくもないし(笑)。

記者の独り言

ビートルズを大々好きな青年は、30数年経ても変わらず青年。声が大きく、弾んでる。若い頃の反骨精神を持ちつづけ、その偉丈夫は今も変わらない。グループ会社の代表の席を一年で辞し、現在の会社へと転身したことが端的にそれを表す。「大好きな焼津の海とモノづくりに心踊る」毎日を送る「青年」だった。(原崎)

23万人くらいいました。でも、顔が見えない。それじゃあつまらない。農家のおじさんや漁師さんとか膝詰めで話すといいねえ。素朴で温かみがあつてさあ。团塊の世代っていうのは、社会生活においてはスマートな年代かもしれない、集まっちゃうし、群れちゃうし。地域住民、隣近所の付き合いは、上の世代よりうまくやってゆけそうだよね。

お産に立ち会つて、女性は強いと。

小池宇嗣さん

こいけ いえつぐ
1949年、竜洋町生まれ
全国共済農業協同組合連合会浜松自動車損害調査サービスセンター長



アルバイト18種。 授業はなかつたが勉強はした

「人生真面目に生きてきた」三三三と笑いながら席についた小池さんの顔はそう言っていた。片手に『ジエンドー』の本を持ち、「こんな事がなかつたらこのことについて深く考えるチャンスはなかつたと思います」。どこまでも真面目で正直な方というのが第一印象。

A Q 団塊の世代だと意識されたことは特になかったです。ズーとその中にいたので。でも学園紛争は、自分の人生に大きな影響を与えました。大学はロックアウトされてしまつたから授業らしい授業はなく、家にも帰らずアルバイトしました。お金がなくなれば働くという感じで18種類も。それが社会へ出る前のいい体験になりました。

授業はありませんでしたが、よく勉強したとは思います。当時は学生間で盛んに討論を繰り返していました。「民主主義の理念を言ってみろ」「こんな本も読んでいいのか」とお互いに張り合つていたので、本を読んで勉強していくないと討論についていけない。だから自分で勉強しました。

女性は強い。いつも感心させられる

Q お連れ合いのことはなんと呼ばれてますか?

A 妻のことは「母さん」ですね。母のことも「母さん」。妻は「なぜ名前を呼ばれないんだ」というのですが、どうもねえ。そういうこと突き詰めて話していくと決まって男女の違いが際立つてしまます。だからつい「はいはい」で済ませようとした。妻は妊娠3ヶ月の時に重い喘息にかかりまして、一治療に抗生物質を投与すると胎児に影響が出るか

もしれない」と医師から説明され、母子どちらを優先するかの決断を迫られました。母体優先にして投与してもらいましたが、幸運にも息子には影響がありませんでした。その後、妻は体质改善のためキャディの仕事を始めたんです。心配したのですが、ルールを覚えたり、集中力が必要な仕事だったのでも、それが良かつたらしく、喘息はすっかりよくなりました。お産にも立会いましたが、女性は強い。いつも感心させられます。

息子とは徹底的に話す、それが僕の子育て

A Q オムを替えるとか、ミルクをやるとかはあまりしなかつた。でも息子とは本当によく話しました。それは今も変わりません。徹底的に話す。息子は小学校4年生の時から卓球をやっていました。部活のほかに地域でもやっています。部活のほかに地域でもやっています。両親だけではなく色々な方に育ててもらつて、それがよかつた。優しい男に育つたと思います。

A Q 座右の銘はありますか?

A 妻の親代わりの方から教えていただきいた「奉仕の精神」です。どんな仕事でもそれは人のためになっている、家族のためにになっている、国のためになっているということです。今の若者のボランティア精神は凄いですね。感心します。災害などにも即対応して積極的ですね。これから世の中捨てたものじゃないなと希望が持てます。

記者の独り言

お互いに初対面で緊張感の張り詰めたスタートでしたが、ご家族想いの父親の姿がそこにあり、ホッとさせられる方でした。またお会いしたいと思いつつ、帰路についた。(河合)

団塊の世代は語る 3

僕らは競争も衝突も当たり前だつた。

岩本寛さん



いわもと かん
株式会社ハシモトヤ洋品店社長。1948年生まれ
熱海市中心街で祖父の代から続く婦人洋品店を、父の後を継いで22歳から経営
現在、熱海市商店街連盟会長



大学では電気工学を専攻した。卒業後はその関係の会社に入社。しかし「学生時代あまり真面目に勉強しなかった」という岩本さんは、研修中に早くも他の新入社員との壁を感じていたが、結局家業を継ぐことにしたという。
そんな折、父親が癌に倒れる。就職の際、「絶対、会社のために働きます」と言っていたが、結局家業を継ぐことに。「せっかく訓練していざ使おうという時に辞められるのだから会社からすれば給料泥棒。今思えば、楽な方へ逃げたのかも」。

競争を否とする最近の親にはギャップ

Q 団塊世代だと意識なさる時は?

A PTA会長だった時、「競争はかわいそう」と言う親たちに違和感を持ちましたね。チャンスは平等に与えられるべきだが、たとえば運動会で全員を1位にしてしまったら、本来の「平等」から遠ざかつてしまう。自分たちは貧乏だったし人数が多くつたから、競争も衝突も当たり前でした。だからこそ守るべきルールやマナーも覚えた。子どものわがままを通じてしまふのは、親の間違った“自分流”ですよ。そんな最近の親と自分の考え方があつかると「団塊の世代だ」と意識します。

若いころは、失敗しても大丈夫

Q 若い頃について後悔は?

A 後悔というほどの後悔はありません。目の前の道をただ進んできたという感じ…常にベストを尽くしていくればもう何か変わっていたかもしれないが、他人のためには頑張れても、自分のためとなるとなかなかできませんでしたね。

海外で新しい商売を始めてみたい

A Q 自分の若い頃と今を比べると…

まだ仕事ができない子を採用し、給料を払って教育て一生面倒を見る、温かいシステム。ところが、今は違います。即戦力の人間だけ幹部候補として採用し、あとはパートタイマーや派遣社員…これは理不尽でヤバイことだと気づかないと。

A Q これから将来、なさりたいことは? 新しい商売をやりたい。外国人と話すと大抵焼肉が好きらしいので、日本風のサービスとノウハウで、ベトナムで焼肉屋をやろうかと、飲み友達と話しているんです。経済格差のあるところでの商売。中国はもう遅いからベトナムで。今年、話半分で見に行こうと思っています。

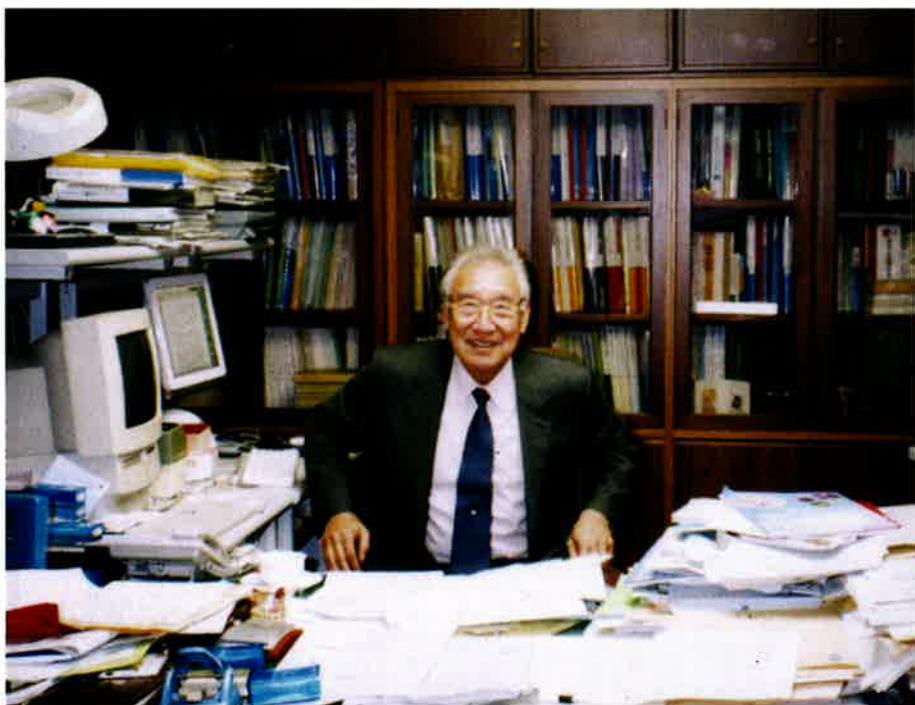
記者の独り言

「長男だが、姉が4人もいたから甘つたれ」と話す岩本さん。若い頃を振り返るときは笑顔に、今の社会について語るときは真剣で熱くと、とても表情豊かに話してくださいました。(伊藤)

A Q 今の20代、30代へメッセージは?
失敗しても大丈夫、と伝えたいです。自分は20代の頃、失敗が怖かった。経営者という地位も店も親から「貰つたもの」で、「この店を無くしてしまったらご先祖様に申し訳ない」。そう思うと大胆なことはできなかった。自分で「やる気の出る環境」を作ることが、大事だと思います。

団塊世代の弟と 私自身は 変わらない。

寺尾俊彦さん



Q 団塊の世代との違いを意識なさるとは?

A 団塊の世代に弟がいますが、私自身は変わらない気がします。特に異性に対する考え方では、世代より、その人の育った環境が大きく影響を与えていると思う。というのは、私と弟は3人の女性に挟まれて育つたし、私の高校はもともと女学校と男子校が一緒になつてできたので、わりと女性の方が多かつた。だから女性と接することも多くて女性を特別視することはなかつたですね。それに比べて私の大学時代の同級生でも男子校出身の友人は、女性への憧れでいっぱい。その反面女性は劣ついるという先入観が大きかつた。その点、団塊の人多くは高校まで男女共学で育つたので、我われよりずっと女性と接することにも慣れているのではないでしようか。

**Q もつと勉強しておけば、
国際的になれたかな**

A 若い頃についての後悔は? 今より進学制度が厳しかったので10代は受験一色でした。20代は勉強をしなければと思いつ青春していましたね。外交官を目指した頃もありましたが、内科医だった父の勧めで医学部へ進学しました。当初の希望とは違つてしまつたが、私は柔軟性があつて、与えられたものを受け入れる性格だったから、後悔はしていません。でも、息子の姿を見ると、20代にもつと勉強しておけば、僕

産婦人科医として歩んでこられた寺尾俊彦さん。人生を振り返つて、進路変更したけど後悔はなく、自分には柔軟性があると思うとおっしゃる。そんな寺尾先生に、団塊世代について語っていただいた。

男女共学の影響も大きいのでは

Q 団塊の世代との違いを意識なさるとは?

A 団塊の世代に弟がいますが、私自身は変わらない気がします。特に異性に対する考え方では、世代より、その人の育った環境が大きく影響を与えていると思う。というのは、私と弟は3人の女性に挟まれて育つたし、私の高校はもともと女学校と男子校が一緒になつてできたので、わりと女性の方が多かつた。だから女性と接することも多くて女性を特別視することはなかつたですね。それに比べて私の大学時代の同級生でも男子校出身の友人は、女性への憧れでいっぱい。その反面女性は劣ついるという先入観が大きかつた。その点、団塊の人多くは高校まで男女共学で育つたので、我われよりずっと女性と接することにも慣れているのではないでしようか。

リタイアしたら妻と世界遺産を見て回りたい

A Q

将来なさりたいことはありますか。今後の人生設計は特に考えたことはありません。今まで走ってきて、忙しくて、今で精一杯だけど、リタイアしてもまだ歩けるようだつたら、世界遺産を見て回りたいですね。もちろん妻と一緒に。妻は友人と旅行に出掛けているので色々と詳しいし、自分一人では自信がないですから。

男と女、違いを理解しあつて共生するにどうお考えですか?

A 男と女は基本的に同じだけどホルモンによる違いはある。能力でいうと女性特有の素晴らしい能力もあるし、それは男にもある。男は冷静に判断できるとか、細かいことに拘らないとか、瞬発力。男性と女性それぞれのホルモンに支配されて出てくるものだから、女性ホルモンでしか出せない柔らかさや母性本能、男性ホルモンでしか出せない瞬発力や闘争力。それは特徴であつて、それを否定するジェンダーというのはあり得ないと私は思います。ホルモンに支配された男女が全く同じであるわけがないのだから、違いを理解して、それぞれのいいところで共生できるといいんだだけね。

記者の独り言

とても気さくな方で、団塊の方と特に何が違うという印象は受けなつたが、職業柄様々な方にお会いになるからか、各世代の違いを理解しておられ、お医者様ならではのお話もつかがえた。(榎原)

も国際的になれたかなと思うことはある。今思えば後悔の20代ですね。

下の世代の外国人から

子どもたちと 過ごす時間が大事、 だから主夫。

アダム・レボウイツツさん



日本大学講師 1967年、アメリカ・ニューヨーク州生まれ
大学で日本の映画と現代演劇(60年代のアングラ演劇)を研究
来日13年 現在は英語教師として日本大学に勤務
萱野茂著「アイヌの民具」の英語版を共訳・編集(今年3月出版予定) 趣味は民謡三味線



大黒柱ではなく僕は主夫

Q どんな家庭ですか?

A 掃除、洗濯は僕の毎日の仕事。料理は半分ずつ担っていますが、僕は肉と魚を食べないので、妻が肉や魚を食べたい時や子どもの栄養のため週末は彼女が料理します。彼女は遺伝学研究所に勤め、僕は大学の非常勤講師で週3日ぐらい働いている。自分を大黒柱だとは思いません。5歳の息子と1歳3ヶ月の娘と過ごす時間や思い出が大事だと思うから、今は主夫。僕の年齢では一番が仕事で次に家族かもしれないけど、僕は逆に考えています。

妻に「オイ」「おまえ」は失礼

Q ご夫婦ではお互い何と呼び合っておられますか?

A 僕は「のりちゃん」彼女は「あーちゃん」と。「オイ」や「おまえ」は一切言わない。失礼だと思います。妻は伊豆出身。職場で出会って、来年結婚10周年。育った文化が全然違うのに解り合える。彼女は完璧です。日本人には少ないタイプ。自分のやり方が好き、説明するのが好きで口では僕に勝っちゃう。そういう彼女が気に入ってるし、認めてもらいます。

日本の映画や歴史に興味があつた

Q 若い頃を振り返るとどうですか。

A 十代の時はアーティストになりたかった。ワシントンDCは、よい美術館、博物館が全部無料で、日本、中国、韓国などどんどん絵を見ました。特に15、16歳から日本に興味が湧いて小津安二郎や今村昌平の映画が好きになりました。20世紀を代表するのはアジアでは日本だと考えてました。歴史が一番面白いし、行ってみたかった。

最初の来日は24歳。想像していたの

と違つてたのは、國民が自分の國の歴史を知らないこと。誰も考えなければならぬ大事なことを考えていないこと。寺山修司や唐十郎の演劇運動を支えた精神が残っていないこと。想像していた日本を思わせる団塊の世代が友人に多い。戦後の物のない時代に育ったこの人たちは、手作りの社会、物:芸術への思いにも深みがある。

Q アメリカの団塊世代についてはどう考えますか?

僕はこの世代の環境保護運動の精神的な「子ども」だと強く感じています。そして「安全・安心な世界は人間の権利」という哲学が認められたのも、この世代の「成功」です。一方で、「ベビーブーム」の「金とテクノロジー」で國民の生活を楽に」という夢が、アメリカでは強い力を持っている。おかげで僕も贅沢に暮らせたので「苦勞様」と言いたいけれど、現代の暗いところ、将来の出口がない状態を見ると「あんたたちのせい!」と呼びたい時も。彼らの作ったものが「最高」か「最低」か、僕の評価はまだ定まっていません。

※寺山修司(1935~83年)劇作家・詩人・歌人、演出家・作家・映画監督・競馬評論家。唐十郎(1940年~)劇作家・小説家・演出家・俳優。ともに幅広い分野で活躍し60年代アングラ演劇の旗手。

記者の独り言

「今日は息子の5歳の誕生日」と嬉しそうに帰宅したアダムさん。今年、「のりちゃん」の転勤で筑波に引っ越し。週末は伊豆市の実家で、義父と釣りや農作業を楽しんできたが、筑波からは通えないといと残念そう。日本を外から知っているからこそ、日本の良さも悪さもよく見える彼のお話はとても貴重でした。(川口)

お試しください。

5人の男性は「あと一歩」

ジェンダーバイアス度テスト

●ジェンダーバイアス度テスト／取材にご協力いただいた5人の方々にも取り組んでいただきました。

得点は、11点、24点、16点、16点、13点（順不同）で、おおよそ「あと1歩」という好結果でした。皆様もぜひ一度、ご確認くださいませ。

テスト実施方法

■設問に対し、3つの判断基準があります。

1. 男性のおしゃべりはみっともない を読んで、「まったくそうだ」という場合は「2」、「まあそうともいえる」という場合は「1」、「そういうことはない」場合は「0」に○（マル）をつけてください。

■記入方法が理解できたら2~25問までのセルフテストを始めてください。

■○（マル）をつけた数字を足し、合計欄に記入してください。

1. 男性のおしゃべりはみっともない。	2	1	0
2. お茶は女性にいれてもらったほうが美味しいと感じる。	2	1	0
3. 育児や介護は男性より女性のほうが適している。	2	1	0
4. 女性は体力的に男性より劣るのだから、譲られなければならない。	2	1	0
5. 男性は大学くらい出でていたほうがよいが、女性はどちらでもよい。	2	1	0
6. 男性がスキンケアやエステなど、身体の手入れを気にかけるのはおかしい。	2	1	0
7. 管理職はやはり男性のほうが向いている。	2	1	0
8. 女性が男性を諂ひ破するのになんだか腹がたつ。	2	1	0
9. 男性が痴漢行為をする半分は、肌を露出する女性に原因がある。	2	1	0
10. 女性はよく泣く。	2	1	0
11. 台所は女性の領域である。	2	1	0
12. 女性は買い物好きだが、男性は苦手である。	2	1	0
13. 女性は話好きの人が多いが、男性はどちらかというと寡黙だ。	2	1	0
14. 野球やサッカーを女性がするのは、あまりいい気がしない。	2	1	0
15. 女の子はフリルのついたブラウスがよく似合う。	2	1	0
16. 職場で男性より女性の方がよい成果を出すと、心から喜べない。	2	1	0
17. 家事一切が大好きで主夫志望の男性は、なんだか気味がわるい。	2	1	0
18. 子どもを産まないと女性とはいえない。	2	1	0
19. 「～よ」「だわね」といった言葉遣いをする男性はおかしい。	2	1	0
20. 子どもは、男性が育てるより、女性が育てたほうがよい子になる。	2	1	0
21. 家庭の経済は男性が支え、責任をもつものである。	2	1	0
22. 女性は情緒が豊かだが、理性には欠ける。	2	1	0
23. 男の子は泣いたりしてはいけない。	2	1	0
24. 女性は電気修理や大工仕事には向かない。	2	1	0
25. 男性はコントロール能力が高いが、女性は足りないのでヒステリーがある。	2	1	0
合	計		

50~40 今の時代を生きるのは難しい。ジェンダーというより差別意識で摩擦が起きてませんか？

39~30 知識武装も大事。まずはジェンダー本を読むことから始めましょう

29~20 ジェンダーぶりっ子はできているのかも、ね。でも、本当は…

19~10 刷り込まれたジェンダーバイアスを解いている過程かも知れませんね。あと一歩です

10以下 ジェンダーバイアスはほとんどありませんね。個性を大切にした関係づくりができているでしょう